

2015年4月3日

学生各位

学際科学科 学務委員長
佐藤守俊

「外国語論文講読Ⅱ」の履修申込・登録について

別紙『講義内容一覧』にある科目の履修を希望する学生は、以下の要領で履修申込・登録を行ってください。

開講曜限・教室が一覧に記載されていないものについては、申込締切後、掲示または担当教員よりメールで連絡します。

記

1) 履修申込

申込締切：4月10日（金）16：00

申込方法：教務事務室（15号館107号室）のカウンターにある申込用紙に学籍番号・氏名・所属・連絡先等を記入する

2) 開講曜限の決定

担当教員と履修申込者で相談して開講曜限を決定する

履修申込をした学生に対し、掲示または担当教員からメールで連絡する

3) 履修登録

登録期間：4月14日（火）～19日（日）

登録方法：通常の科目登録と同様 UT-mate で登録すること

講義内容一覧

2015年度Sセメスター 学際科学科・広域システム科学系

担当教員	科目番号・科目名	講義内容	曜限 教室
森畑 明昌	学部 08D12325 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 計算機科学・プログラミング言語に関する英語の論文や参考書を輪読する。輪読の対象は初回に話し合って決めるが、例としては以下のようなものを考えている。 - E.W. Dijkstra: A Discipline of Programming - 計算機科学に関する古典論文。たとえばA. Turing: On computable numbers, with an application to the Entscheidungsproblem - プログラミング言語に関する最新の研究成果。たとえば最新のPLDI(国際会議)の論文から何本か <授業計画> 具体的な曜限等は初回に授業参加者と話し合って決める。	
	修士 31M282-0090S 基礎システム学輪講Ⅰ		
	博士 31D282-0090S 基礎システム学輪講Ⅰ		
中村 政隆	学部 08D12324 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 離散数学もしくは計算機科学の英語文献を読むことによって、当該分野の基礎知識を身につけるとともに英語の読解力を身につける。 <授業の方法> 適切なテキストを選んで輪読する。 <履修上の注意> 毎回出席することを前提とする。	
	修士 31M282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ		
	博士 31D282-0110S 基礎システム学輪講Ⅲ		
金井 崇	学部 08D12326 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> CGや形状モデリング、アニメーションに関連した文献や書籍の輪講を行う予定である。なお、今学期は以下の書籍のうちどちらかを予定しているが、履修者との話し合いで変更する可能性もある。 Stephen Boyd and Lieven Vandenberghe, "Convex Optimization", Cambridge University Press, 2004. Simon Foucart and Holger Rauhut, "A Mathematical Introduction to Compressive Sensing", Birkhaeuser, 2013. <関連ホームページ> http://graphics.c.u-tokyo.ac.jp/	
	修士 31M282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ		
	博士 31D282-0130S 基礎システム学輪講Ⅴ		
山口 和紀	学部 08D12322 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 英語の文献を読みこなす能力を身につけるとともに、文献の内容も理解する。 <授業計画> 初回に割り当てを行い、2回目以降は輪講形式で進める。 <教科書> 今回はデータマイニングを意識した統計の教科書を読む。 教科書としてはThe Elements of Statistical Learningを想定しているが、必要に応じて他の資料を併用する。 <履修上の注意> 発表者以外も読んでおくことが原則である。準備の時間を確保しておくこと <関連ホームページ> http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~yamaguch/	
	修士 31M282-0290S 情報システム学輪講Ⅰ		
	博士 31D282-0290S 情報システム学輪講Ⅰ		
開 一夫	学部 08D12321 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 認知科学およびその周辺分野(神経科学・発達科学・人工知能)の先端研究に関する原著論文の講読 <授業計画> 週に1回、担当者(3名)が、割り当てられた論文についてレポートする。 <授業の方法> 認知科学に関する英語原著論文の輪講	
	修士 31M282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ		
	博士 31D282-0310S 情報システム学輪講Ⅲ		
柴山 悦哉	学部 — —	<授業の目標・概要> 今日の情報システムは、多くの脆弱性を抱えたまま稼働を続けており、セキュリティの問題が発生することが少なくない。この輪講では、情報システムをセキュアに構築するために何が重要かを知ることが目的とする。 <授業の方法> Ross Anderson: Security Engineering (2nd Edition), Wiley, 2008 の一部の章の輪講を予定しているが、受講者と相談の上、他の書籍または論文に変更する可能性がある。	
	修士 31M282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ		
	博士 31D282-0330S 情報システム学輪講Ⅴ		
小宮 剛 石川 晃	学部 — —	<授業の目標・概要> 固体地球に関連する地球進化研究の理解 <授業計画> 固体地球に関する主要な論文や最近の論文などを輪読。 各回、担当者が担当論文の紹介をし、全員で議論をする。 夏学期は12週、異なる論文を輪読する。担当する論文は第1回の授業日に決める。	16号館 802
	修士 31M282-0550S 自然体系学輪講Ⅶ		
	博士 31D282-0550S 自然体系学輪講Ⅶ		
山口 泰	学部 08D12323 外国語論文講読Ⅱ	<授業の目標・概要> 人間の視覚情報処理や計算機による画像・形状処理に関する英文の教科書ないし参考書を輪読する。 <授業の方法> 授業参加者から担当者を決めて教科書ないし参考書を輪読する。 <教科書> 講読対象の文献については、初回に参加者の意見を聞きながら決定する。 たとえば、以下の書籍などを考えている。 Martin J. Tovee: An Introduction to the Visual System, 2nd ed., Cambridge University Press, 2008 (ISBN 9780521709644) Daniel Malacara: Color Vision and Colorimetry - Theory and Applications, 2nd ed., SPIE Press, 2011 (ISBN 9780819483973) William B. Thompson et al.: Visual Perception from a Computer Graphics Perspective, CRC Press, 2011 (ISBN 9781568814650) Hursrev Taha Sencar, Nasir Memon ed.: Digital Image Forensics - There is More to a Picture than Meets the Eye, Springer, 2013 (ISBN 9781461407560)	
	修士 31M282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ		
	博士 31D282-0760S 複合系計画学輪講Ⅲ		